

東国文化自由研究レポート

「ぐんま」と「さいたま」

隣り合う県の古墳
共通点・相違点を探る



太田市立太田中学校 1年

鈴木 総一郎

1. きっかけ、動機

地元の天神山古墳には毎年訪れていましたが、他の古墳には訪れたことがなく、他県の古墳に興味を持ち始めました。そんなとき、学校で稲荷山古墳について学び、群馬の古墳と埼玉の古墳に違いはあるのか、あるとしたらどんな違いがあるのか、そんな疑問を抱き、調べてみました。

2. 調査方法

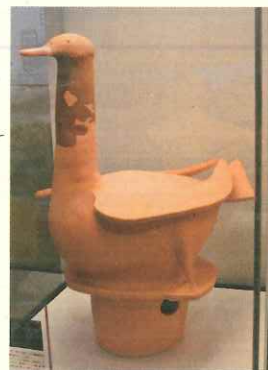
- ①インターネットなどで双方の古墳の概要について調べる。
- ②天神山古墳と新田荘歴史資料館に実際に行く。
埼玉古墳群2つの古墳に行き、実物を見る。
- ③調べた内容をもとに双方の古墳について比較する。
- ④①～③の内容を整理する。

3. 調査

調査① 古墳についての事前調査

◎天神山古墳について

- ・群馬県太田市に現存する「国指定史跡」の前方後円墳。
- ・別名男体山古墳。
- ・大きさは東日本最大の210m。
- ・銅鏡や鉄刀、鉄剣等の金属器、円筒埴輪や形象埴輪が出土。
- ・5世紀前半につくられたとされる。
- ・ヤマト王権と強いつながりのあった毛野国の権力者が埋葬された。
(諸説あり)



Wikipediaより

◎埼玉古墳群（二子山古墳、稲荷山古墳）について

埼玉「県名発祥の地」といわれる埼玉県行田市にある古墳群。

前方後円墳は全8基現存する。

○二子山古墳

- ・埼玉古墳群の中で最大の前方後円墳。
- ・大きさは132.2m。
- ・6世紀前半につくられ、円筒埴輪や須恵器が出土。

○稲荷山古墳

- ・大きさ120mの前方後円墳。
- ・5世紀後半につくられ、**ワカタケル**の名が刻まれた金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土。
- ・ヤマト王権の勢力範囲が明らかになった。

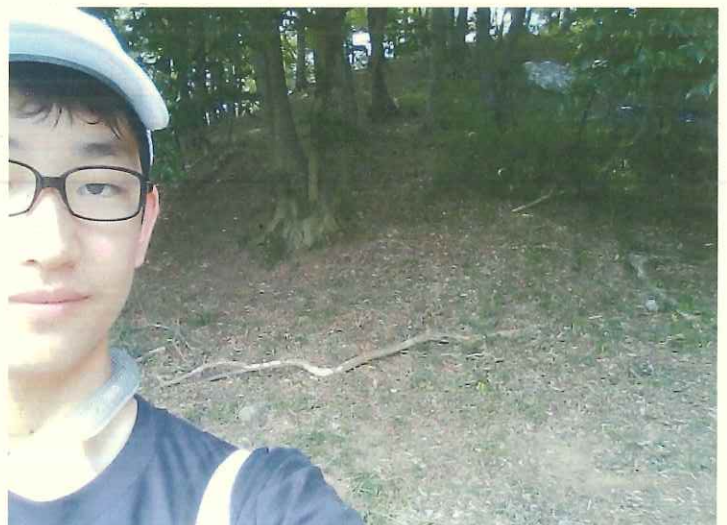


調査② 古墳への現地調査

天神山古墳（太田市）、二子山古墳・稲荷山古墳（共に行田市）に行ってきました。

○天神山古墳

2024年8月6日に太田天神山古墳に行ってきました。駐車場があり、車を止めることができました。東日本最大ということもあり、非常に大きい古墳でした。住宅街の中を抜けるとすぐに古墳があり、地元の人も訪れていました。東日本最大の古墳で、とても大きな力を持った権力者が埋葬されているとは思えないほど、地域に馴染み浸透している古墳だと感じました。登ると神社のような建物もあり、昔から信仰の対象とされていることがわかりました。これだけ大きな古墳が、昔から地域に浸透していてすごいなと思いました。



また、近くに女体山古墳と呼ばれる古墳もあります。※帆立貝形古墳の中では全国2位の規模を誇る大きな古墳です。

つくられた時期や方向が天神山古墳と似ていて、双方の古墳は密接な関係があったと言われています。

双方とも森林になっていて昆虫も多く、自然豊かな場所でした。反面、もう少し道が整備されていると訪れやすいのではないかと感じました。地元太田の大切な文化財をもっと多くの人に知ってもらい、これからも守っていきたいです。

※帆立貝形古墳とは

円墳に方形の張り出しがついている古墳。

ホタテのような形状をしていることからこの名がついた。

他に塚廻り古墳群（太田市）などがある。



○新田荘歴史資料館

2024年8月7日に新田荘歴史資料館に行きました。駐車場だけでなく、近くにバス停もあり、今回は東武鉄道太田駅からバスで行きました。周辺には世良田東照宮や長楽寺など、様々な文化財があります。

太田市の文化財スタンプラリーの1箇所でもあり、入館料は大人200

円、中学生以下は無料で入ることが

でき、調べ物等で行きやすくなっ

ていると感じました。この資料館で

は、縄文時代から現代にいたるまで

の太田市の史跡についての展示がさ

れています。天神山古墳には、天皇

をはじめ、極一部の人のみ使用で

きる長持形石棺があったそうです。

直立した筒状の長い首に平らなくち

ばしという珍しいつくりの埴輪水鳥形埴輪が出土しています。昔の人は

白鳥は靈魂、または靈魂を運ぶ鳥だと信じていたそうです。



○埼玉古墳群

2024年8月4日に埼玉古墳群へ行ってきました。こちら駐車場が整備されていて、車で行きやすい所です。小さいですが博物館があり、出土品の展示を見ることもできました。

こちら大人200円、中学生以下は無料となっています。天神山古墳以外の古墳は見たことがなかったのでとても新鮮でした。公園にもなっていて、こちらも地元の方が訪れていました。道も整備されていて歩きやすいと感じました。とても広く、大小さまざまな古墳がありました。また、一部の古墳は上に登ることができましたが、急な階段だったため、足の不自由な人など登れない人もいないのではないかと感じました。古くから残る古墳の景観を守りつつ、誰でも古墳を周り、楽しむことができるような方法を考えていきたいです。



稲荷山古墳 ↗

(階段で登れるようになってる。)

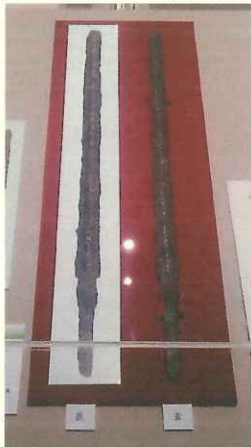
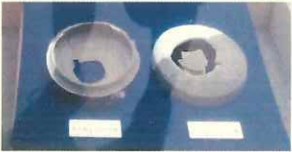
調査③ 「ぐんま」と「さいたま」の比較

以下の項目で比較していきます。

- ・ 大きさ（全長・後円部の直径・前方部の幅で比較）
- ・ 作られた年代（出土品などから予想されたもの）
- ・ 埋葬者（仮説・様々な説がある）
- ・ 形状（上から見た図で比較）
- ・ 外見（側面・実物の印象）
- ・ 出土品（主に埴輪・石棺などでも比較）

群馬県「天神山古墳」と埼玉県「稲荷山古墳」「二子山古墳」比較表

古墳名→ ↓項目	太田天神山古墳 (ぐんま)	稲荷山古墳 (さいたま)	二子山古墳 (さいたま)
大きさ	全長約210m 後円部直径約120m 前方部幅約126m 東日本の古墳の中で 最大	全約120m 後約63m 前約82m 埼玉古墳群で 2位	全約132m 後約67m 前約83m 前方後円墳で 埼玉最大
年代	5世紀前半	5世紀後半	6世紀前半
埋葬者 (推定)	毛野国の 権力者	その地域の 権力者か一族	その地域の 豪族か権力者
形状	 太田市ホームページより 共通点 ・前方後円墳 ・2重の堀 ・全体的な形が似ている 前方部と後円部の間等 相違点 ・造出しと呼ばれる方形がない ・堀の形上が丸い ・墳丘は3段	 共通点 ・前方後円墳 ・2重の堀 ・全体的な形が似ている 前方部と後円部の間など 相違点 ・造出しがある(画像左側) ・堀の形長方形 ・墳丘は2段	 共通点 ・前方後円墳 ・2重の堀 ・全体的な形が似ている 前方部と後円部の間など 相違点 ・造出しがある(画像左側) ・堀の形長方形 ・段なし(1)

外見	圧倒的な大きさに 1つの森のようになっている 堀も大きく古墳を 囲っている	階段があり 上に登ることができる 段がはっきりと わかる	側面から見ると 大きさや 形の特徴から 2つの山のように 見える
出土品	円筒埴輪 最も多く使われた 埴輪の形 新田荘歴史資料館に 展示 (館内撮影禁止のため 画像なし) 形状は似ている 形象埴輪 ものや生き物の形を 象った埴輪  Wikipediaより 珍しい水鳥形埴輪 直立した首や翼、 水かきのついたあし等 水鳥、特に白鳥を 象った埴輪 その他いくつかの 土器類が出土	円筒埴輪  形状は似ている 金錯銘鉄剣 (レプリカ)  計115文字の 文字が掘られた 鉄剣 ワカタケルの名 が刻まれている その他防具や 武器・道具類	円筒埴輪  形状は似ている 土師器 古墳時代始めに 使用された土器 煮炊きや食器に 使われた  須恵器 朝鮮半島から 伝わった青灰色 土器 貯蔵に使われた  

棺	長持形石棺 天皇をはじめとした わずかな人、そして 大きな権力を持った 人間のみ使用できる	礫槨木棺墓 木棺直葬墓 古墳の上には 石で作った棺の 跡がある	横穴式石室 ※埋葬施設の 位置は不明 そのため棺は 不明
---	---	---	--

調査④ 比較してわかること・考察

○大きさ

天神山古墳が圧倒的に大きく、稲荷山古墳や二子山古墳は同じような大きさです。天神山古墳の埋葬者はとても大きな権力を持っていたと考えられます。

○年代

出土品などから天神山古墳が古く、二子山古墳が新しいとわかります。どの古墳も、古墳時代後半に作られています。

○埋葬者

詳しくはわかりませんが、どの古墳もその地域の権力者だと考えられます。特に、天神山古墳の埋葬者は古墳の規模から、莫大な権力を持っていたと考えられます。

○形状

全て前方後円墳だったことに加え、防御として2重にもなった堀があることから、相当大きな権力を持った人が埋葬されたとわかります。天神山古墳に造出しがないのは時代的な原因に加え、造出し自体が珍しいからだと考えられます。また、天神山古墳には近畿の最新技術が取り入れられるなど、ヤマト王権とのつながりもあるとわかりました。

○外見

二子山古墳のように、見た目が名前になる古墳もあるとわかりました。また、天神山古墳には神社のような建物もあり、その大きさから信仰の対象になっていたと考えられます。

○出土品

どの古墳にも円筒埴輪があり、円筒埴輪は一般的な埴輪だとわかります。また、古墳が大きければ、円筒埴輪も大きいなど古墳自体の規模に関係していると考えられます。また、二子山古墳は古墳時代の後期に作られたこともあり、土師器と須恵器の両方を、用途によって使いわけていたと考えられます。さらに稲荷山古墳では金錯銘鉄剣の発見により、ヤマト王権が広範囲に勢力を拡大していたことを実感し、ヤマト王権の権力の大きさがわかりました。

○棺

天皇など、極一部の人間のみ使える棺が出てきた天神山古墳の埋葬者は、やはり圧倒的に大きな権力を持っていたと考えられる。

4. まとめ・結論

天神山古墳は、規模も大きく貴重な石棺を使用していたことから、とても大きな権力を持った一国の王ではないかと考えることができました。また、当時ヤマト王権の本拠地であった近畿地方の最新技術を取り入れていたことから、ヤマト王権と何らかの関係があったとわかりました。対して埼玉古墳群は、規模こそ大きくないものの、稲荷山古墳から数々の国宝が出土したことから、富や権力を持った支配者が埋葬されていた可能性が高いです。さらに、ワカタケルの名が刻まれた鉄剣も出土し、ヤマト王権と親密な関係にあったのだとわかります。

これまで調べたことから、

○はるか昔の群馬県太田市周辺には強大な権力を持った人物が国を統治し、亡くなった後に東日本最大の天神山古墳に埋葬された。

○その数十年後の埼玉では、ヤマト王権に支配されながらも力を伸ばし長くに渡って埼玉を統治していた。

という結論に至りました。根拠としては天神山古墳の規模の大きさや使用された石棺から一国の王に匹敵する権力者だったと考えられるためです。また、埼玉古墳群の数々の古墳は似たような方向や大きさのため、その地を治めた一族の古墳だと考えられるためです。

5. 感想

今回は群馬県太田市の古墳と埼玉県行田市の古墳群の比較をしていきました。実際に古墳に行ったり、資料館で出土品を見たりしたことでインターネットや本などの文章ではわからない学びを得ることができました。そして暑さの中、埼玉県まで行き目的を達成できたことの大きな達成感を得ることができました。また、普段は興味のないことには取り組まないことが多く、古墳という未知の建造物について調べ、動き、考える機会をいただいて、ありがたく感じています。今回の研究を通して考えることの大切さを改めて感じました。これからも自ら考えることを大切にし、自らの可能性を広げていきたいです。そして、地元の古墳を発信する方法を考えていきたいと思います。

6. 参考文献・資料引用（Webサイト）

- ・太田市ホームページ 天神山古墳

<https://www.city.ota.gunma.jp/page/4225.html>

- ・太田市ホームページ 女体山古墳

<https://www.city.ota.gunma.jp/page/4524.html>

- ・太田市ホームページ 新田荘歴史資料館

<https://www.city.ota.gunma.jp/page/4193.html>

- ・埼玉県立さきたま史跡の博物館 ホームページ

<https://sakitama-muse.spec.ed.jp>

- ・Wikipedia 太田天神山古墳

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E7%94%B0%E5%A4%A9%E7%A5%9E%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E5%87%BA%E5%9C%9F%E5%93%81>

- ・Wikipedia 二子山古墳

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%8C%E5%AD%90%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3\(%E8%A1%8C%E7%94%B0%E5%B8%82\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%8C%E5%AD%90%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3(%E8%A1%8C%E7%94%B0%E5%B8%82))

- ・Wikipedia 稲荷山古墳

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A8%B2%E8%8D%B7%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3\(%E8%A1%8C%E7%94%B0%E5%B8%82\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A8%B2%E8%8D%B7%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3(%E8%A1%8C%E7%94%B0%E5%B8%82))